

令和5年度学校アンケート(学校教育自己診断)の結果について

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度の学校アンケートのうち、皆さまからいただきました「自由記述」についてご報告いたします。

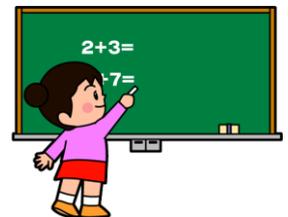
自由記述について

今年も学校運営についてのべ41のご意見をいただきました。本稿では同趣旨のご意見はまとめ要約していますが、すべてのご意見を全職員で共有し、今後の参考とさせていただきます。

また、皆さまからの感謝やお褒めのお言葉を多数いただきました。このようなお言葉で教職員のモチベーションは上がります。心から感謝申し上げます。

なお、前年度以前の学校教育自己診断の結果についてはこちらです。

[枚方市立五常小学校 \(schoolweb.ne.jp\)](http://schoolweb.ne.jp)



1 トイレの使い方と衛生について

○男子トイレを立ち小便器に変えてほしい。

○トイレの清掃は保護者ボランティアでは無く子どもたちにさせて欲しい。

○一部の保護者がボランティアをしているが、児童のトイレの使い方や掃除の仕方が目に見えるかたちで改善していない。

回答)

ご意見ありがとうございます。小学校では、他の児童から冷やかされるなどの理由で大便を我慢する児童が多く、深刻な健康問題になっていたことから、市の方針として、改装時に個室を多く設置しております。大便の課題については一定の効果が表れているのですが、新たにトイレの使用と清掃(衛生管理)の課題が持ち上がりました。

まず小便器の新規設置については、今改装時に北校舎1階に2基、中校舎2階に1基設置されました。ただ、現時点では枚方市として本施策を肯定的に総括しているため、本校の小便器設置におけるの予算化は困難と思われます。引き続き市教委には設置を求めてまいります。

次に衛生管理ですが、保護者ボランティアの皆様のご尽力や児童の頑張り、教職員の指導等により、状態はひと頃よりも劇的に改善しております。特にボランティアの皆様においては、日々の清掃活動に加え使用法を詳しく解説したビデオの作成など、子どもたちの心に響く働きをしていただいております。

この流れを受け学校全体で組織的に継続していくために、教職員による使用指導と清掃指導のマニュアルの作成、低学年を含む学年縦割りの清掃班の編成、民間企業の協力を得て児童の清掃意欲向上をはかる企画等の検討を進めているところです。

2 生徒指導について

○学校は、問題のある児童へ適切な対応が出来ていない。授業中に騒いでいる児童には、大袈裟で良いのではっきりと厳しく律する指導をお願いする。

○学校は、問題のある児童の保護者に厳しく対応してもらいたい。そうでなければ、安心して子どもを通わせられない。

○勉強したい子が、勉強したくない子によって学習を妨害されている。授業を受けたくない子には別室で学習指導をすれば、双方の学力を保障できる。

○来年度のクラス編成について、児童の相性などに熟慮をお願いする。

回答)

ご意見ありがとうございます。学校には様々な個性を持つお子様がいることに加え、ご家庭の教育方針や環境も様々で、学校からの一律の指導・助言には困難が伴うことがあります。今後も保護者のご協力を得る努力を行い、保護者と一体となって、お子様方のより良い未来のために努力してまいります。

別室指導については広報はしておりませんが、必要な際には設置し学習指導をしているところです。これについての課題は、保護者の了解を得なければならないことと、小学校には担任以外の空き教員が少なく常時設置が困難なことです。今後も必要に応じ努力してまいります。

最後に、来年度のクラス編成におきましては、ご指摘を踏まえ熟慮してまいります。

3学校・学級からの連絡・広報

○月に一度だけでもクラス通信などを配布してもらいたい。

○子どもから連絡事項を聞く前に、先生からのプリント等で知りたい。

○参観はありがたいが急に言われても休みが取れないので年間行事予定表があれば嬉しい。

回答)

ご意見ありがとうございます。クラス通信については、各クラスの状況や校務分掌等担任の業務負荷等が様々ですので、担任の判断に任せているところです。保護者からこのようなお声があることを全教職員に共有してまいります。

連絡事項については、通常担任から毎日下校時間までに Google classroom で配信しております。お手元のスマホでも閲覧が可能ですので、アプリのダウンロード等の設定をお願いいたします。なお、ご不明点がありましたら、担任、学年主任、もしくは管理職までご連絡ください。

参観については、大変申し訳ございませんでした。今年度11月のオビタイム参観については年間計画には入れていなかったのですが、保護者の関心が高まってきたことから臨時に設定いたしました。来年度実施する場合は、できる限り事前にお知らせいたします。なお、参観日以外で個別にご覧になりたい場合は管理職までお問い合わせください。できる限り対応いたします。

4学習の仕方について

○繰り返し繰り返しの勉強の大切さを教えてもらった。

○漢字の学習方法が本人に合わず、書き順も覚えられないままで苦手意識を持っている。

○Units of Sound を家庭学習にどう組み込むべきかがわからない。

回答)

ご意見ありがとうございます。これまで学級、学年により漢字の指導が様々であったところを、昨年度より学校全体で統一し、漢字の正しい習得における努力しているところです。ただ、お子様によっては現行の方法が合わない場合もあると思います。その際には個別に対策をいたしますので担任にご相談ください。

Units of Soundについては、1週間に1回、オビタイムの時間に取り組んでいます。また、スキマ時間を使って頑張っている子もいます。お家ではお子様が自律的に学べるよう、励ましのお声掛けをお願いします。英語の音が中心の学習ですので、ゲーム感覚で良いと思います。まずは一度、お子様と一緒に試してみたいかがでしょうか。

5 オンライン授業について

○インフルエンザや入院等、休みを余儀なくされた状況のもとでは、オンライン授業を受けさせたい。

回答)

学校では、通常教室にいる児童を前提に授業を組み立てています。他方、休校中のオンライン授業は、オンライン用の授業内容を用意し機器等含めて準備を行います。両者は似ているようで異なるものです。日常の授業をただオンラインで流すだけでは、教室と同じ学習効果は得難いと考えています。

従いまして、枚方市ではオンライン授業を行う際は、事前に担任と保護者で十分意思疎通をはかりながら行うこととしています。本校では、オンライン授業を受けていただくことが望ましい場面においては、担任から事前にお伝えし、参加をお願いします。それ以外では、日々の課題について児童とやりとりし、登校再開後に補講的なチェックを行います。

最近あるような感染症の学級閉鎖の場合は、朝9時にオンラインで朝の会を行った後、当日の学習課題について児童とやりとりした上で、課題の進捗状況を管理します。

なお、不登校や入院等長期欠席になる場合は、児童の学びを保障するため別途の対応を行います。

6 学習指導、宿題、評価(通知表)について

○宿題もテストも通知表もいらない。

○家庭学習(宿題)と授業をなるべく連動させないでほしい。授業準備のような宿題よりも、授業では出来ない事を計画的に出してもらいたい。

○週末など休みの時に作文の宿題を出して、表現力や作文力の向上をはかって欲しい。

回答)

ご意見ありがとうございます。現在の学習指導要領においては、特に「評価と指導の一体化」が重視されているところです。児童の学習状況の評価を、教員の指導の改善に生かしていくという視点も重要と考えています。

宿題の出し方、内容は学習状況により様々ですが、できる限り無駄の無いよう効率化をめざしています。例えば、漢字の宿題はオビタイムで間違ったところだけにすることなどです。効率化したことで生み出した時間は、自己の興味関心に基づいた自主学習やご家庭の方針にそった課題にあてられるようにしています。

一方、限られた授業時間を有効に使うために、自分一人でじっくりと考える課題は、宿題とすることがあります。授業時間を学校でしかできないことに使うため、担任は熟慮して宿題を出しています。ご不明点は、担任までお問い合わせください。

表現力・作文力の向上については、授業中の作文の課題に加え、毎時間の授業で根拠を示し自分の考えをノートにまとめたり、授業のまとめふりかえりを記したりする中でもはかっています。なお不足する部分については、クラスによっては作文の課題としたり、自主学習を促したりすることもあります。ただ、ご家庭によりめざすところが違うと思いますので、くわしくは担任までご相談ください。

なお、校長おすすめの参考書籍は下記です。

- ① ふくしま式200字メソッドで「書く力」は驚くほど伸びる!
- ② ふくしま式200字メソッド「書く力」が身につく問題集[小学生版]

関連情報 学校だより 12月号 P13 [392129.pdf \(schoolweb.ne.jp\)](https://schoolweb.ne.jp/392129.pdf)

7学級経営について

- 授業の進め方や宿題の量、クラス通信など学年の先生方で話し合われて差が出ないようにしてほしい。
- 学級参観で、一人だけ遅れた子に児童、保護者の視線が集中した。悪目立ちしないような雰囲気作りを期待したい。

回答)

ご意見ありがとうございます。授業の進行度や宿題の量などは、学年で連携をとっているところです。ただ、各担任の校務分掌等業務負荷の状況を考慮することも必要ですし、担任の個性や得意を生かすことも非常に重要です。今後も、学年の横連携、管理職との縦連携を一層密にし、より良い教育をめざして取り組んでまいります。

参観の際には、大変ご心配をおかけして申し訳ありません。担任にご指摘のような意図は無かったと思いますが、ご意見は全教職員に共有し謙虚に受け止めて留意してまいります。

8先生への激励

- 先日は長時間の懇談ありがとうございました。個人をよく見て考えてくださり感謝している。
- 担任の先生は、子どもの事をすごく理解し、弱い部分を伸ばそうとしているのがすごく伝わってくる。
- 努力して頂いていると思うので、引き続き宜しく願いしたい。
- 我が子の担当の先生方には、とてもお世話になっており、相談もしやすく感謝している。
- 今のクラスはとても楽しいようだ。自主性、相手を思いやる気持ちを大切に、進級してもらいたいと思う。
- 先生方にはどんどん研修に行っていたら良い。良い取組をしている学校に行き、良い点を取り入れたり、五常の古く取り残された考えなどがあるならば、気がつく機会にしてほしい。

回答)

心温まるお言葉をありがとうございます。教職員はこのようなお言葉を糧にこれからも一層尽力してまいります。研修や他校の訪問は、ご指摘のとおり貴重な気づきの機会です。ご意見を全教職員に共有し、それらの機会を有効に生かすようにしてまいります。

9学校の姿勢について

○保護者間で問題を起こす方については、学校が介入するなどしっかり対応を取ってほしい。

回答)

保護者間トラブルでお悩みを抱えている方がいらっしゃることは承知しております。どの保護者も学校にとって大切な存在ですので、非常に心を痛めているところです。

一般論になりますが、そのトラブルが児童の生活に大きな影響を及ぼすおそれがあるならば、学校として関与するべきと考えております。ただ、その際にも、どちらかの味方であるとの誤解は避けなければなりません。

従いまして、解決ないしはご心痛の緩和に向け、表立ってというよりは極力水面下において、効果のある支援をしていくことに力を尽くしております。ご報告はしておりませんが、大きな問題については市教委とも連携し、学校弁護士(スクールロイヤー)の助言を得ております。

ご参考まで、今年度開始前後に、保護者のご意見を踏まえて「学校の責任と役割の明確化」という文書を発行いたしました。

[学校の役割と責任の明確化について | 枚方市ホームページ \(city.hirakata.osaka.jp\)](https://city.hirakata.osaka.jp)

その中で、児童の教育機関である学校の役割としては、自立した大人である保護者同士の関係には原則踏み込まず、極力自制的であるべき旨を明記しております。

以上、お返事が少し抽象的になりますが、学校は状況を把握し適切に対処しておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○「子どもたちの新しい居場所」について、外部の方が出入りし過ぎて、子ども・保護者が安心出来る環境でないのが非常に残念だ。メールだけでの説明では、一体学校は何を目的としているのかわからず、今の学校経営に不信感しかない。

回答)

ご意見ありがとうございます。ご指摘の趣旨は良く理解いたしました。ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。

世間では、とかく学校は閉鎖的であると言われております。また、学校を取り巻く複雑な課題※を解決するためには学校の力だけでは不足で、保護者や広く地域社会の助力を得ることが重要だと言われております。そこで、国・府の方針に基づき、枚方市では全ての学校を「コミュニティスクール」と位置づけ、保護者・地域住民からなる「学校運営協議会」の承認のもと、地域住民総がかりの学校運営を行っているところです。(※例えば、不登校や子どもの貧困、教育格差の課題)

[学校運営協議会報告 | 枚方市ホームページ \(city.hirakata.osaka.jp\)](https://city.hirakata.osaka.jp)

非常に先の見えにくい社会状況の中では、現状にとどまることがリスクになり、果敢に挑戦することが求められています。他方、セキュリティについては、平日の学校、休日の学校の安全基準と同じレベルを確保しています。今後は、できるだけご心配を減らすよう、ブログの発信を強化したり、丁寧に説明する機会を設けたりしてまいります。

10教材費について

○より良い運営のために必要であれば教材費が上がることに異論はない。

回答)

ご意見ありがとうございます。今後も保護者から寄せられるご意見を参考に熟慮してまいります。

11ブログの写真について

○学校でブログの為に子どもたちの写真をたくさん撮ることは不要だ。写真ではなく、「校長先生とこんな話をした、一緒に〇〇できた」など、児童にとって長期的に見た教育とは何かを考え改めてほしい。

回答)

ご意見ありがとうございます。ご指摘の趣旨は良く理解いたしました。ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。

現在、日々のルーティーンとしては、朝の登校指導の後、特に低学年の教室を回っています。児童と朝のあいさつを交わしたり、昨日あったことなどをタネに談笑したりしております。子どもたちには活力をもらっています。

20分休み、昼休みは、来客時を除いて校長室を開放し、子どもたちの居場所としています。黙って本を読んでいる子もいますし、なぞなぞ大会をせがむ子、中には相談に来る子もいて、にぎやかに過ごしています。最近の流行はマイスター検定で、休み時間ごとにテストを受ける子どもたちで校長室はにぎわっております。

保護者や担任のような縦の関係ではなく、近所の気のいいおっちゃんのようなナナメの関係で、たわいもない話をしながら親しく接することができればと思っています。今後は、できるだけご心配を減らすよう、ブログの発信を強化したり、丁寧に説明する機会を設けたりしてまいります。

12先生と児童のかかわりについて

○担任以外の多くの先生が関わる時間をたくさん作って欲しい。

回答)

ご意見ありがとうございます。ご指摘のように、児童に担任以外の多くの教員が接していくことは非常に重要です。児童から見た相性もあることでしょう。学校では、各学級担任にくわえ、学年全体ですべての児童を見守ることにしています。また、養護教諭、担任を持たない教員、異学年の教員、支援学級の教員、管理職など全ての教職員で全ての児童を見守っていき、日々の情報共有と定期的な全体共有の場を設けています。

ご意見を踏まえ、以上の体制が一層機能するよう留意してまいります。なおご不明点がありましたら、担任、学年主任、もしくは管理職までご連絡ください。

13図書室の本について

○長期休みには図書室の本を五冊ぐらい借りられるようにして欲しい。

回答)

ご意見ありがとうございます。学校の蔵書数は限られており、子どもたちに人気がある本には偏りがあります。一方、購入する本は予算の中でニーズに合わせ多種多様な本を買っており、子どもたちに人気のある本ばかり買えるわけではありません。

今年度長期休業向けの貸し出し期間は、月曜日に始まり金曜日に終わるよう設定しました。もし、月曜日割り当てのクラスの児童が人気のあるシリーズを5冊まとめて借りてしまったら、借りたいシリーズの本がすべて棚からなくなるということが起こりえます。

週終わりが割り当てのクラスが借りたい本を借りるチャンスをつくるためにも、今まで通り長期休業中の貸し出しは2冊としたいと考えています。

できましたら、読み応えがある本を選んだり、近くの公共図書館を活用したりして、子どもの読書意欲を大切にしていただけたらと思います。

14携帯の持ちこみ

○防犯目的ならばよいと聞かすが、携帯電話持参の可否について全保護者に伝えて欲しい。

回答)

ご意見ありがとうございます。ご指摘のように、携帯電話の持参については、防犯等一定ニーズがあるものと考えます。登校後は、非常時を除き帰宅までカバンから出さない等の条件のもとで解禁する方向で検討しております。新学期にはお知らせができるものと思います。

15運動会について

○運動会のダンスは一曲全部踊っているのが見たい。

回答)

ご意見ありがとうございます。ここ数年、運動会を午前中開催とし、伴って練習時間の見直しも行っております。学年で団体競技と走競技の2つを主に行い、その間にダンスなどの演技を取り入れることで、限られた時間の中でも子どもたちがそれぞれに輝ける場面を作ることができると考えております。

ご意見は今後の企画検討の際参考にさせていただきます。